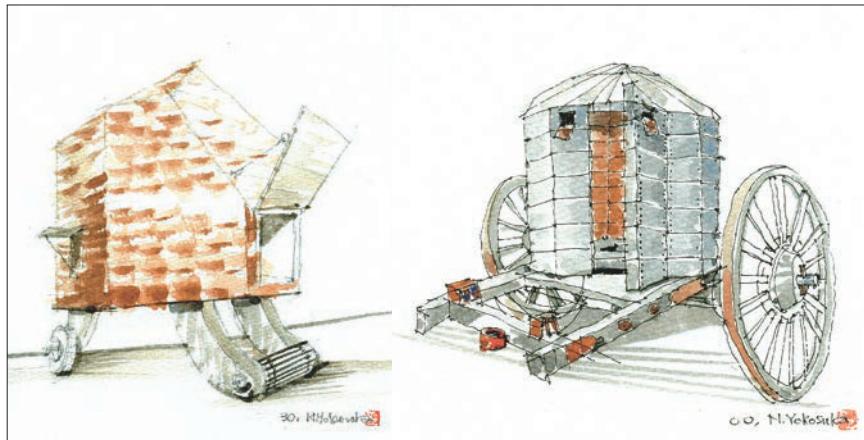


(2018-19年度 国際ロータリー・テーマ)



インスピレーションになろう



「新旧安神車」(水戸市)

沖縄諸島

青沼 裕 (OA機器事務用品関連)

私の趣味の一つは旅行ですが、その旅行の中で最も好んで止まない場所が沖縄諸島です。最初に沖縄諸島に行ったのが30歳になってからの石垣島でした。この時の石垣島のインパクトが強烈で、今でもその時の思い出が脳裏を過ります。

初めての石垣島に行くに際して、当時私は静岡に赴任中でしたので、静岡のダイビングショップに通ってライセンスを取得してから行きました。

目的は、マンタを間近で見る事です。まだ、ライセンスを取りたての初心者でしたが、ガイドさんに連れられてマンタ通りとも言われている与那良水道に船で向かいチャレンジしました。ここはベテランダイバーでも注意を要するほど海流が速く、ロープに伝わってスリルを感じながらのダイブです。ガイドさんからは、マンタに遭遇できるのは本当に僅かな確率で、10回通つて来ていても一度も見られない人もいると聞かされました。それが、何と潜って20分ほどで5~6体もの群れのマンタに遭遇できたのです。それも私の身体の真上を通っていき、手が届くほどの近さに上からの光を一瞬遮るくらいの巨大マンタとの出会いです。ガイドさん自身も驚いていて、こんな機会は滅多にないと一緒に喜んだくらいです。もう、それは鳥肌が立つくくらいの感激を味わった出来事でした。そして、それが私にとっての初ダイビングでしたので本当にラッ

キーとしか言いようがありません。

翌年は、宮古島に行きました。石垣島のような感動を味わいたいとダイビングスポットを探してみると「とおり池」と言う、ダイバー憧れのスポットがある事が分かりました。ここも上級者用のスポットでしたので、ガイドさん付きでのチャレンジです。西岸の岸壁近くに船を停泊させ、そこからダイブ開始です。10m程潜つてから岸壁に近づくと大きなトンネルの入り口があり、そこに入って行くツアーです。トンネルの先には二つの池があってそこと繋がっています。海側からしばらく進むと海の青さの色がだんだん変わっていきます。そして、「サーモクライン」と呼ばれる水温の違う水が接して出来る境界面に出くわします。そこでは水の色が青と緑の二色にくっきり分かれています、池の水面へと浮上する時はそのグラデーションの中を進み、太陽の光が角度によって様々な色合いになり、幻想的な体験となりました。さらに外海へ向けて戻る際に見る宮古ブルーが感動的でした。そのように美しくて神秘に満ちた沖縄諸島への初体験が切掛けとなり、沖縄本島は勿論の事、沖縄諸島の虜になりました。ここ10年間もほぼ毎年のように新たな感動を求めて沖縄諸島に行っています。

No. 36 2019・4・2

1951年3月6日設立
1951年3月15日RI認証

■事務所

〒310-0021 水戸市南町2丁目5番5号 常陽銀行本店 別館5階
TEL.029(231)2151(代表) 直通(225)4820 FAX.029(225)4825
E-mail r.i.mito@sage.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.mito-rc.jp/>

水戸ロータリークラブ

■会長 牧 厚志 ■幹事 二川 泰久

■例会日
毎週火曜日・12時30分
常陽銀行本店8階



私は、亀山家の長男として昭和35年5月16日に生まれました。そこで、私が生まれました昭和35年の出来事を振り返ってみます。

先ず政治では、7月に岸内閣が総辞職し、第1次池田内閣が成立了。科学・技術では、日本でカラーテレビの本放送が開始されました。たばこでは「ハイライト」が発売され、キリンが初めて缶ビールを作りました。また、石原裕次郎さんと北原三枝さんがご結婚された年でもあります。更には「ダッコちゃん人形」が大ヒットし、街中若い女性の腕には「ダッコちゃん」がぶら下がっていました。因みにこの年の流行語は、「家付き・カ一付き・ババ抜き」であったそうです。

小学校、中学校と地元の公立学校で学び、高校は隣りの市の都立日野高校に進学しました。日野高校は俳優の三浦友和さん、アンジャッシュの渡部 健さん、そして今は亡き忌野清四郎さん等を輩出した高校です。自分も芸能界を目指しましたが、スカウトが無かったのであきらめました。最近では野球で都立高校の強豪校として知られ、平成25年度の地区大会では決勝戦で日大三高に敗れ、あと一歩のところで甲子園出場を逃しました。

学校は共学の普通科で、三年生からは文化系と理科系とに授業が分かれます。あまり文学、歴史に関心が無かった事から理科系を選択しましたが、その時点では未だ、進学か就職かを真剣に考えていました。ただ正直、あまり裕福な家庭で無かった事や勉強が好きで無かつた事から就職の線が強かったです。

そんな中、高三の夏休みの頃ですが公務員試験の案内が眼に入りました。職種は官庁の行政職と郵政事務職の初級です。

高校一年生の時から正月に郵便配達のアルバイトをしていた関係から、郵政事務職を受験することにしました。筆記試験と面接試験でしたが、アルバイトが功を奏してか何とか合格する事が出来ました。合格を知ってか、地元の郵便局長の方々からお誘いの電話が何本もあり、何

処の局に行くか考えておりました。

そんな時期に後の母校となる東海大学の推薦入学制度の案内が眼に入り、心が揺らぎます。受験勉強を全くといってよい程していない中での大学への憧れ。両親に相談したところ、授業料のみなら出すとの事です。他はアルバイト、奨学金にて捻出することとなります。覚悟を決め、これで落ちたら就職と決めていたところ運良く合格し、大学生活を歩むこととなりました。落ちて公務員の道を歩んでいたら、当然皆さんにもお会いしていませんし、どんな人生を歩んできたことでしょう。

大学の学部は、自分が鉄道、旅行好きであった為、卒業後には鉄道会社に就職したいという思いと、インフラとして無くてはならない電気であれば、適応範囲も広いのではないかと考えたからです。

大学のサークルは、「旅行研究会」に入りました。旅行に関するサークルでは他に、「ユースホステル研究会」や「鉄道研究会」が有りましたが、広い意味での旅行が好きだったのでこれに決めました。この頃は新幹線も東海道しか無く、在来線は夜行の急行列車が全盛期でありましたから、周遊券を使っての日本各地への旅行が主流でした。ワイド周遊券では、目的エリア迄は急行列車が、目的エリア内では特急列車も乗り放題でしたから、東京からの移動は夜行列車。宿泊はユースホステルと、徹底した儉約旅行です。

大学4年間で北海道・稚内から九州・鹿児島まで旅をしましたが、中でも毎年夏の北海道旅行は楽しい思い出です。8月から1か月間アルバイトをして、9月に10日間程の北海道旅行をします。思い出に残る場所としては、何も無かった、えりも岬。裏側から湖岸まで下りた霧の摩周湖。いつ自分が入るか解らない網走刑務所。などなど。良い思い出を沢山作ることが出来ました。また気候が良い時期に訪ねたいところですが、のんびり北海道旅行をするのは当分先になりそうです。

さて、お酒を覚えたのもこの時期です。連日・連夜酒豪の先輩達と「養老乃瀧」やら「村さ来」で一気飲み、ラッパ飲み。騒ぎ過ぎたり、汚したり、会計を誤魔化したりで、出入り禁止も喰

らいました。

勉強も程々にはやりましたが、遊びメインの学生生活が残り少なくなり、就職活動を行わなければなりません。父がサラリーマンでしたから、自分も会社勤めを選択することとなります。本命は鉄道会社での電気技術者になることです。なかでも全国規模で展開する国鉄への入社が本命でした。ところが、多額の債務超過に陥っていた国鉄の分割民営化策が本格的に行われることとなり、私が卒業する年度から新規採用停止という状況になってしまいました。

次なるターゲットは、関東圏の私鉄各社に向かう訳ですが、総じて各社共、大卒の技術職の採用枠は少なく、ゼロか若干名といったところで、チャレンジするも結局失敗しました。他の業種は考えていなかったのでどうしようか悩んでいた時に、就職事情に強い教授から電力業界を薦められました。東京電力は私の成績からは難しいとのことで、関連企業である関電工を紹介されました。当時は、インターネット環境も無く、何をやっているかも解らない会社にいきなり〇B訪問をし、その場で人事の方と面談。

その後に筆記試験、役員面接を経て入社が決まりました。この年は就職環境が厳しく、当時関電工では8,000名程の社員が居たと記憶していますが、新卒の採用は24名でした。

入社してからは、工事現場勤めが続きます。現場を纏めあげるには、技術的な知識は当然必要ですが、それ以上にコミュニケーション能力が要求されます。社内はもとより、施工、設計事務所、ゼネコンと多岐にわたりますが、酒、ゴルフを潤滑油として話せる環境を作っていました。

現場に携わっていた22年間は東京23区内での勤務でしたが、平成17年以降は管理職としてほぼ2年周期で転勤を繰り返して参りました。横浜を皮切りとして、沼津、新宿、浜松町、水戸、千葉そして二度目の沼津を経て、昨年の10月から二度目の水戸勤務となっております。

前回は副支店長で、今回は支店長という立場で参りました。茨城県全域を担当しています。エリアが広く、移動も大変ですが、この茨城の為に頑張っていこうと思います。まだまだ県内知らない事ばかりですが、是非色々と教えて頂ければ幸いです。

例 会 報 告

4月第1例会

司会 中原委員

◇ ゲスト紹介

ナビラ ビンティ アブドルハリムさん

◇ 米山奨学生終了記念品（米山記念奨学会・米山学友会・水戸RC）贈呈

牧会長より、ナビラ ビンティ アブドルハリムさんには、米山奨学生及び米山奨学生終了記念品（米山記念奨学会・米山学友会・水戸RC）が贈呈されました。

◇ 米山奨学生終了挨拶

ナビラ ビンティ アブドルハリム

皆様には2年間大変お世話になりました。米山奨学生を頂いたお陰ですべての課程を修了することができました。勉強だけではなく、自分の成長のためのことを多くのことを学ぶことができました。ロータリーの活動にもたくさん参加させていただきました。多くの思い出をつくることができました。皆様これまで本当にありがとうございました。

◇ 米山カウンセラー感謝状伝達

牧会長より、後藤直樹会員には米山カウンセラー感謝状が手渡されました。

◇ 会長の時間

牧会長

昨日、新元号が発表されました。平成の時代も今月限り、来月からは「令和」の時代が始まります。私は昭和22年の生まれですので、昭和と言いますと日本が敗戦のどん底から高度経済成長へとつき進んでいく、希望の時代を経験しております。しかし、平成になっていきなりバブル崩壊、阪神淡路大震災や東日本大震災、そして高齢社会の到来、東京一極集中による地方の過疎化と暗い話題が多かったように思います。

そして、平成が終わろうとしている今、地方に住んでいる私にとって一つ心配なのが、若者が職を求め地方から東京に出て行ってしまう事です。このままですと地方の人手不足は深刻になり、やがて一次産業や中小企業は事業を縮小

せざるを得なくなります。その結果地方経済が落ち込めば、増え若者の地方離れが加速するという、負のスパイラルに落ち入ってしまうことです。そして、この生産人口の流出という問題は、高齢者比率の増加を伴い、税収減による医療福祉環境の悪化も懸念され、残された住民の生活環境にも影響が及ぶと思われます。正に、地方にとって致命的とも言えるのではないでしょうか。

2020年のオリンピックに向けて人も物も関心も東京に集中しがちですが、地方の衰退は必ず日本全体に深刻なダメージを与えます。令和の時代には政府と地方行政は、この問題にいち早く出口を見つけて、豊かさと明るい未来が描ける地方にしていただきたいと思います。令和という新時代に相応しく、地方に希望の花が咲くことを願っています。

令和フィーバーで湧いている時に辛口コメントになってしましましたが、平成につきつけられた課題を忘れないで欲しいとの思いです。

◇ 出席報告

八文字委員長

会員数	出席数	欠席数	本日の出席率
106名	74名	32名	74.00%

前週訂正出席率 68.93%

前々週訂正出席率 67.96%

◇ にこにこBOX

谷川委員長

荻原会員……いろいろなシーズンスタートです。
川名会員……娘が独り立ちしました。

藤本会員……4月1日より社名が三井生命から
大樹生命に変更となりました。今後共よろしく
お願い申し上げます。

石井会員……夫婦揃って誕生日祝を頂きまして有
難うございます。

大久保会員……お誕生日のお祝い戴きました。

増山会員……誕生日ありがとうございます。茨
城アストロプラネット、今度の土曜日開幕戦
です。応援よろしくお願ひします。

土子会員……今月夫婦揃って誕生日です。御祝
いありがとうございます。

藤田会員……誕生日ありがとうございます。
これからも精進して参ります。

宮本会員……誕生日ありがとうございます。

牧会員……妻のバースデー月につき。

小林会員……妻の誕生日祝ありがとうございます。
八文字会員……妻、誕生日祝ありがとうございます。
岡崎会員……家内の誕生日祝ありがとうございます。
高貴会員……家内の誕生日プレゼントありがとうございます。

神尾(友)会員……妻の誕生日祝いありがとうございます。

関口会員……妻の誕生日を祝って頂きありがとうございます。

本日の合計	16件	115,000円
-------	-----	----------

◇ 財団BOX

小櫃 重秀会員……財団の友献金 (ポリオ・プラス)
(第4・5回) \$ 200 22,000円 (累計 \$ 1,500)

この計	1 件	22,000円
-----	-----	---------

◇ 米山BOX

小櫃 重秀会員……米山功労者献金
(第9・10回) 20,000円 (累計 200,000円)
中村 三喜会員……準米山功労者献金
(第5回) 10,000円 (累計 50,000円)
杉本 健会員……準米山功労者献金
(第2回) 10,000円 (累計 20,000円)

この計	3 件	40,000円
-----	-----	---------



週報担当 片岡 宗嚴 委員長

例会予告

4月16日(火)

卓話「水戸を離れてからの私、

仕事と郡山ロータリークラブ」
株帝国データバンク郡山支店長
坂田 勲 元会員

4月23日(火)

株納豆 代表取締役 宮下 裕任 氏

4月30日(火)

一定款第8条第1節により休会—